

2020 年 1 月幹事会  
2020.1.31 河村・新野

## 2020 年 1 月幹事会 セミナー幹事資料

【議題 7】2020 年度 第 24 回夏セミナーについて

### 1. 準備の進捗

各セッションについて、以下のように演者候補を選出した。

#### セッション 1 トランスポーター

- ・ タイトル（仮）：ヒトトランスポーター機能のフェノタイピングのための新規ツールの利活用
- ・ 組織委員：東京大学 前田 和哉 先生、アステラス製薬 岩坪 隆史 先生
- ・ 講演内容及び演者候補（内諾未）：
  - PET を用いた肝胆系輸送の関わる薬物相互作用の定量的評価  
理研 中岡 貴義 先生（or、渡辺 恭良 先生にご推薦いただいた方）
  - トランスポーター内在性基質の血中濃度変動を基にした PBPK モデリングとの連携による薬物相互作用リスクの定量的予測  
横浜薬科大 吉門 崇 先生
  - humanized liver mice を用いたトランスポーターを介した薬物相互作用の定量的評価  
東レ 内田 将史 先生

#### セッション 2 細胞治療

- ・ タイトル（仮）：ニューモダリティ創薬で求められる薬物動態研究の発展  
- 細胞治療における貢献とは -
- ・ 組織委員：第一三共 渡邊 伸明 先生、武田薬品工業 森脇 俊哉 先生
- ・ 講演内容及び演者候補（内諾済）：
  - 細胞治療のオーバービュー  
FIRM-MEASURE、第一三共 花田 雄志 先生
  - 細胞治療における非臨床動態の役割  
武田薬品工業 山本 俊輔 先生
  - キムリアの臨床開発と承認  
ノバルティスファーマ 米田 智廣 先生

#### セッション 3 バイオアナリシス

- ・ タイトル（仮）：企業研究者が対応すべきバイオアナリシスの規制と多様性
- ・ 組織委員：アステラス製薬 大津 善明 先生、横浜薬科大学 栗原 隆 先生
- ・ 講演内容及び演者候補（内諾済）：
  - 規制下のバイオアナリシスとは何か  
中外製薬 宮山 崇 先生

- ICH M10 ガイドライン：現状と今後の予定  
国立衛研 石井 明子 先生
- がん免疫療法の開発に用いられる多様な生体試料分析法  
LSI メディエンス 林 洋充 先生

#### 特別講演 1 (内諾未)

「エクソソームの臨床応用の話」  
東京医科大学 (国立がんセンター) 落合 孝弘 先生

#### 次候補

「医薬品の開発における AI の活用」  
医薬基盤研究所 AI 健康、医薬研究センター センター長 水口 賢司 先生

#### 特別講演 2 (内諾未)

「Muse 細胞を用いた臨床応用」  
東北大学 出澤 真理 教授

#### 次候補

「iPS 関連の臨床応用について」  
京都大学 iPS 細胞研究所 金子 新 准教授

#### 会長講演

杉山 雄一 先生

## 2. 今後の予定

- ・ ~2月末：すべての講演者の決定 (内諾)
- ・ 4月中：現地会場での打ち合わせ (事務局 CRO も参加)
- ・ 6月上旬：参加募集開始